

平成21年度（2009年）事業報告

（平成21年1月1日～平成21年12月31日）

1. 試合の管理運営に関して

(1) 世界(24)、東洋太平洋(28)、日本(33)の別記タイトルマッチ及びその他合計260
興行（1,994試合）の試合管理を行う。〔別表1参照〕

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンスの
発給。

ライセンスの発行数 4,822 （内：外国人ボクサー183名）

(内訳) ボクサー(2,813 内女子97名)、プロモーター(101)、クラブオーナー(286)、
マネージャー(401)、トレーナー(570)、セコンド(417)、マッチメーカー(5)、
レフェリー(101)、タイムキーパー(13)、アナウンサー(10)、ドクター(100)、
進行(5)。

(3) プロボクサー新人テスト実施

《男子》受験者総数(C級)：979名 合格者：522名（合格率53.3%）

〃 (B級)：13名 13名（合格率100%）

【内訳】東京地区：受験者573名 合格者：307名

他4地区：受験者418名 合格者：228名

《女子》受験者総数(C級)：28名 合格者：20名（合格率71.4%）

〃 (B級)：2名 2名（合格率100%）

【内訳】東京地区：受験者16名 合格者：11名

他4地区：受験者14名 合格者：11名

※本年度は女子のプロテスト受験年齢制限に係る経過措置を延長

(4) 日本ランキング決定、発表（月例）

(5) 試合役員研修会（東京地区月日他原則毎月、他4地区は随時）

採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止他。

2. 安全防護に関して

(1) 女子ボクサー講習会（2月1日、於・マイドームおおさか）

〔講師〕八島 有美氏（元女子ボクサー）

「女子ボクサーの昨日、今日、明日」

真木 和氏（元女子陸上競技選手）
「女子マラソン選手の心と身体の強化法」

女子選手特有の健康問題や競技における男子との違いなどを女性の視点から考え、女子ボクサーに対する健康への意識向上を目的として行われた。
（対象）出席者：女子担当トレーナー、女子選手、他関係者21名。

(2) 関西地区メンタル&医事、倫理講習会（7月11日、於・大阪産業創造館）

〔講師〕高畑 好秀（メンタルトレーナー）
「プロボクサーのためのメンタルトレーニング」

鴨居 一文（株式会社コサナ）
「CoQ10 & リポ酸包接体エネルギー産生ならびに筋肉保護作用について」

藤田 敏晃 コミッションドクター（大阪厚生年金病院 脳神経外科 脳卒中担当部長）
「硬膜下血腫の症状と夏場の水分補給の重要性について」

安河内 剛（JBC本部事務局長）
「ボクシング界に関わる者の心得」

枝川 孝（六島ジム会長）
「ボクシング界に関わる者として」

関西地区においてメンタル&医事、倫理講習会を開催し、メンタルトレーニングの重要性と併せて、頭部外傷の基礎知識ならびに水分補給について、及びプロボクサーとしての心得などが講義された。参加者約130名

(3) 中部地区合同医事講習会（7月19日、於・今池ガスビル7F B会議室）

〔講師〕谷 諭 コミッションドクター（東京慈恵会医科大学・脳神経外科教授）
「辻 昌建選手リング事故報告」

山田 徳久 コミッションドクター（医療法人生々会 富田病院 脳神経外科 診療外科部長）
「頭部外傷の基礎知識と水分補給の重要性について」
「U-15ボクシングの安全性について」

安河内 剛（JBC本部事務局長）

「事故防止策並びにセコンドの職務と責任について」

中部地区にて初めて合同医事講習会が J B C と中日本ボクシング協会の共催で開催された。主に頭部外傷の基礎知識に関する講義を基に安全管理についての意識の啓蒙を図った。参加者 61 名。

(4) J B C ・ J P B A セCOND講習会 (7 月 2 1 日、於・後樂園展示会場)

〔講 師〕 谷 諭 コミッショ ン Dr. (東京慈恵会医科大学・脳神経外科教授)

「脳の仕組みと外傷」

大槻 穰治 コミッショ ン Dr. (東京慈恵会医科大学・救急医学講座准教授)

「知っておくべき応急処置」

村野 あずさ 管理栄養士 (明治製菓ザバス スポーツ&ニュートリションラボ)

「減量とコンディショニング」

辻昌建選手のリング事故をうけ、4 月 1 4 日に行われた J B C ・ J P B A 合同健康管理委員会にて協議された事故再発防止策の一環として、東日本ボクシング協会加盟ジムに所属するセコンドを対象に、ボクサーに対する安全意識の向上を目的に、J B C と J P B A 共催によるセコンド講習会が開催された。

尚、講習会参加者全員に『セコンド講習会受講証明書』と『セコンドマニュアル』が配布された。

(対象) 出席者：セコンド、トレーナー、マネージャー、他関係者 1 3 6 名。

(5) 西部地区医事講習会 (9 月 2 5 日、於・クローバープラザ 501 号室)

〔講 師〕 大槻 穰治 コミッショ ン Dr. (東京慈恵会医科大学・救急医学講座准教授)

「ボクシングにおける頭部外傷について」

光武 良幸 コミッショ ン Dr (医療法人聖峰会 田主丸中央病院 呼吸器内科)

「新型インフルエンザについて」

「女子ボクシングと U-15 ボクシングの安全性について」

安河内 剛 (J B C 本部事務局長)

「事故防止策並びにセコンドの職務と責任について」

西部地区にて初めて合同医事講習会が J B C と西部日本ボクシング協会の共催で開催された。主に頭部外傷の基礎知識と流行の兆しをみせていた新型インフルエンザについて講義された。参加者 83 名。

(6) リング事故

清水 秀人（木更津グリーンベイ）：1月28日後楽園ホールにおいて、阪東ヒーロー（フォーラムスポーツ）との8回戦で5ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫及び脾臓損傷にて開頭並びに開腹手術。

辻昌建（帝拳）：3月21日後楽園ホールにおいて、金光佑治（六島）との日本ミニマム級王座決定戦で10ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫にて開頭手術。3月24日死去。

ソムブーン・ウィアンチャイ（タイ）リングネーム：サーカイ・ジョッキージム：10月12日宗像ユリックスにおいて、仁木一嘉（FUKUOKA）との10回戦で10ラウンドTKO敗後、急性硬膜下血腫及び脳浮腫、脳ヘルニアにて同日死去。

3. 国際交流について

(1) 国際会議に代表派遣

(a) WBA（世界ボクシング協会）第88回年次総会 参加者：256名
（11月17日～11月20日、コロンビア・メデシン、ダンカールトンホテル）

協議事項:

- *暫定タイトルマッチについて
- *医事セミナー（ドーピング検査、女子ボクシングの健康管理 前日計量）
- *審判員セミナー（ビデオ研修、ジャッジセミナー、採点研修）
- *ランキング委員会
- *リカルド・ロペス氏スピーチ
- *その他

(b) WBC（世界ボクシング評議会）第47回年次総会 参加者：597名
（11月1日～11月7日、韓国・済州島 ラマダブラザホテル）

協議事項

- *任命（リング事故調査委員長に安河内剛 JBC 本部事務局長、WBC 副会長に金柱煥 KBC 会長）
- *WBC 新ウェブサイト
- *WBC ワールドカップ構想
- *WBC 医事総会（今後5年毎開催を予定）
- *生命保険（傘下の地域タイトルにおいても適用）
- *WBC ケアーズ（済州島の孤児院訪問）
- *ナイト・オブ・チャンピオンズ（2010年11月イギリス・ウェールズにて開催予定）
- *表彰（OPBFがコンフェデレーション・オブ・ザ・イヤー受賞）
- *寄付金（フィリピンへの洪水災害への寄付金）

*指名試合

*オフィシャルセミナー（レフェリー及びジャッジミーティング）

*その他（2010年開催国はメキシコ 2011年開催国はトルコ）

（出席者）JBC 関係：安河内事務局長 森田健 浦谷信彰 福地勇治

JPBA 関係：本田明彦（帝拳）、ジョー小泉（リングジャパン）

鈴木正臣（角海老宝石）他

(c) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）48回年次総会

（11月2日、WBC 総会同所）

*各種報告

*日本のOPBF会長国任期が2012年12月31日まで延長された

*OPBF加盟国オフィシャルセミナー

*海外遠征試合の必要書類について

*各国の代表の確認（タイはTBC インドネシアはIBCとIBA）

*シンガポールの加盟申請（各国代表の投票により決定予定）

*次回OPBF総会開催地 東京での開催を検討

*新規加盟国（パプアニューギニア 台湾）

*災害寄付金の贈呈（洪水災害のフィリピンと地震災害のインドネシアへ）

*OPBF女子ベルトの公開

*2009年OPBFタイトルマッチ・ハイライト放映

*フリーディスカッション

(2) その他

(a) WBA、WBC、OPBF、並びに各国コミッション関係者との交流（役員来日時随時）

(b) 海外でのタイトルマッチに役員派遣（内訳：WBC 6名、WBA 1、OPBF 0名）

[別表2参照]

(c) 国際問題の処理について

(3) 海外遠征並びに来日選手の各種試合契約の承認について

4. ボクシング功労者の表彰について

(1) 2008年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式。

1月23日東京ドームホテル（2009年1月6日選考）

プロの部10部門（14名） アマの部5部門（6名）

(2) 世界王者獲得並びに各種チャンピオンの引退、他功労表彰について。

*元日本ライト・フライ級チャンピオン 増田信晃（駿河）引退。

*元OPBFミニマム級チャンピオン 和賀寿和（畑中）引退。

- *元日本スーパー・ライト級チャンピオン 木村登勇（横浜光）引退。
- *元日本ライト級チャンピオン 石井一太郎（横浜光）引退。
- *元WBA世界ライト級チャンピオン 小堀佑介（角海老宝石）引退。
- *日本級ミニマム級チャンピオン 金光佑治（六島）引退。
- *元日本スーパー・フライ級チャンピオン 川端賢樹（姫路木下）引退。
- *元日本スーパー・バンタム級チャンピオン 三浦数馬（ドリーム）引退。
- *元日本ミドル級チャンピオン 江口啓二（姫路木下）引退。
- *元日本スーパー・フェザー級チャンピオン 矢代義光（帝拳）引退。
- *元WBA・WBCミニマム級チャンピオン 高山勝成（真正）引退。
- *元日本ミニマム級チャンピオン 鈴木誠（野口）引退

- *WBA女子世界スーパー・フライ級チャンピオン 天海ツナミ（山木）獲得
- *WBC世界フェザー級チャンピオン 栗生隆寛（帝拳）獲得
- *WBA女子世界ミニマム級チャンピオン 多田悦子（フューチャー）獲得
- *WBA世界スーパー・ウエルター級暫定チャンピオン 石田順裕（金沢）獲得
- *WBC世界フライ級チャンピオン 亀田興毅（亀田）獲得

(3) JBC 試合役員等功労表彰

5. 機関誌の発行について

- (1) ボクシング広報（月刊）
- (2) ボクシング年鑑

6. 選手記録（戦績、診断の両記録カード）、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存（継続）

7. その他

- (1) (財) 日本ボクシングコミッション 第32回定例理事会・実行委員会（2月24日、後樂園飯店）
 - (a) 2008年度事業報告、同収支決算報告承認
 - (b) 2009年度事業計画、同収支予算承認
 - (c) 新公益法人移行について
- (2) (財) 日本ボクシングコミッション定例理事会（12月11日、後樂園飯店）
 - (a) 2009年度事業計画
 - (b) 2009年度収支予算
- (3) 物故者
 - (a) 野口恭（前野口ジム会長）1月1日死去（69歳）
 - (b) 青木たつ（青木ジム会長）1月9日死去（92歳）

- (c) 松本三郎（JBC理事）3月5日死去（77歳）
- (d) 小松則幸（元東洋太平洋フライ級チャンピオン）4月13日死去（29歳）
- (e) 風間桂二郎（元日本ライト級チャンピオン）8月4日死去（84歳）
- (f) 清水精（元日本スーパー・バンタム級チャンピオン）10月6日死去（62歳）
- (g) 小川弘（JBC試合役員）12月19日死去（49歳）
- (h) 赤坂佳昭（前協栄札幌赤坂ジム会長）12月28日死去（66歳）

(4)紛争処理

(5)JBC/JPBA(ボクシング協会) 合同会議

(6)アマチュア関係者との協議

年間優秀選手表彰選考。アマチュアとの交流について。

(7)処分

- (a) 井岡弘樹（井岡：クラブオーナー）戒告処分（1月28日付）
平成20年11月24日大阪府立体育会館第2競技場において行われた10回戦に出場した同ジム所属ボクサー宮崎亮のセコンドを務めた際、公式試合において使用を禁じられている止血剤を使用したため。
- (b) 宮崎亮（井岡：ボクサー）戒告処分（1月28日付）
平成20年11月24日大阪府立体育会館第2競技場において行われた10回戦に出場した際、公式試合において使用を禁じられている止血剤を使用したため。
- (c) 宮田博行（宮田：クラブオーナー）厳重注意処分（7月1日付）
世界タイトルマッチという重大な試合について、興行状の理由により開催不能に陥らせたことは、ボクシング界に対する社会的信用を損なう結果をもたらした。
- (d) 山田武士（JB SPORTS：マネージャー）
平成21年7月13日よりセコンド資格の3ヶ月停止処分（8月24日付）
平成21年7月13日、他の格闘技団体のイベントにおいて、選手と同時入場し、また、ラウンド中タオル投入により棄権の意思表示をするなど、実質チーフセコンドとして関与したことが確認されたため。
- (e) 森川常次（JB SPORTS：クラブオーナー）厳重注意処分（8月24日付）
前項(d)の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れないため。
- (f) 前島大揮（セレス：ボクサー）
平成21年7月3日よりライセンス資格無期限停止処分（12月9日付）
平成21年7月3日、千葉県柏市において傷害事件を起こし、11月24日実刑判決を受けボクシング界の信用を著しく失墜させる結果となったため。
- (g) 小林昭司（セレス：クラブオーナー）厳重注意処分（12月9日付）
前項(f)の事案につき、クラブオーナーとしての監督責任は免れないため。

〔別表1〕

(1) 世界タイトルマッチ (33) ※ 海外で開催された9試合を含む。

1 WBA世界ライト級 (1月3日 パシフィコ横浜)

○パウルス・モーゼス (ナミビア) ●小堀佑介 (角海老宝石)

2 WBC世界スーパー・バンタム級 (1月3日 パシフィコ横浜)

○西岡利晃 (帝拳) ●ヘナロ・ガルシア (メキシコ)

3 WBA女子世界スーパー・フライ級 (2月26日 後樂園ホール)

○天海ツナミ (山木) ●張喜燕 (中国)

4 WBC女子世界スーパー・フライ級 (3月2日 タイ パンガー) ※

○ウサナコン・ゴークャットジム (タイ) ●藤本りえ (協栄)

5 WBC世界フェザー級 (3月12日 後樂園ホール)

○粟生隆寛 (帝拳) ●オスカー・ラリオス (メキシコ)

6 WBC世界バンタム級 (3月12日 神戸ワールド記念ホール)

○長谷川穂積 (真正) ●ブシ・マリंगा (南アフリカ)

7 WBA女子世界ミニマム級 (4月11日 大阪府立体育会館第1競技場)

○多田悦子 (フューチャー) ●孫チョーロン (韓国)

8 WBA世界スーパー・フライ級 (4月11日 大阪府立体育会館第1競技場)

○名城信男 (六島) ●富山浩之介 (ワタナベ)

9 WBA世界ミドル級 (4月25日 ドイツ・クレーフェルト) ※

○フェリックス・シュトルム (ドイツ) ●佐藤幸治 (帝拳)

10 WBC女子世界アトム級 (5月2日 後樂園ホール)

○小関桃 (青木) ●池山直 (西日本ボクシング協会)

11 WBC女子世界ライト・フライ級 (5月2日 後樂園ホール)

○富樫直美 (ワタナベ) ●OA・ゴークャットジム (タイ)

12 WBC世界スーパー・バンタム級 (5月23日 メキシコ・モンテレー) ※

○西岡利晃 (帝拳) ●ジョニー・ゴンサレス (メキシコ)

13 WBC世界フライ級 (5月26日 ディファ有明)

○内藤大助（宮田）

●熊朝忠（中国）

14WBA世界フライ級（5月26日 タイ・ウタラディット） ※

○デンカホーン・カウイット（タイ）

●久高寛之（仲里・ATSUMI）

15WBA世界スーパー・フェザー級（6月27日 メキシコ ヌエボラレド） ※

○ホルヘ・リナレス（帝拳）

●ホサファト・ペレス（メキシコ）

16WBA女子世界ライト級（7月3日 アメリカ・ラスベガス） ※

○レイラ・マッカーター（アメリカ）

●風神ライカ（竹原慎二&畑山隆則）

17WBC世界バンタム級（7月14日 神戸ワールド記念ホール）

○長谷川穂積（真正）

●ネストール・ロチャ（USA）

18WBA世界ミニマム級（7月14日 神戸ワールド記念ホール）

○ローマン・ゴンサレス（ニカラガ）

●高山勝成（真正）

19WBC世界フェザー級（7月14日 後樂園ホール）

○エリオ・ロハス（ドミニカ共和国）

●粟生隆寛（帝拳）

20WBA世界ライト級（7月25日 ナミビア・ウイントフック） ※

○パウルス・モーゼス（ナミビア）

●嶋田雄大（ヨネクラ）

21WBA女子世界ミニマム級（8月23日 よみうり文化ホール）

○多田悦子（フューチャー）

●ヤニ・ゴーキャットジム（タイ）

22WBA世界スーパー・ウェルター級暫定王座決定戦（8月30日 大阪府立体育会館第1競技場）

○石田順裕（金沢）

●マルコ・アベンダーニョ（ベネズエラ）

23WBA世界スーパー・フライ級（9月30日 大阪府立体育会館第2競技場）

△名城信男（六島）

△ウーゴ・カサレス（メキシコ）

24WBA世界ウェルター級（10月3日 ウクライナ ドネツク） ※

○ピアチェスラフ・センチェンコ（ウクライナ）

●佐々木基樹（帝拳）

25WBA世界フライ級（10月6日 大阪市中央体育館）

○デンカホーン・カウイット（タイ）

●亀田大毅（亀田）

26WBC世界フェザー級（10月10日 国立代々木競技場第二体育館）

○西岡利晃（帝拳）

●イバン・エルナンデス（メキシコ）

27WB A世界スーパー・フェザー級（10月10日 国立代々木競技場第二体育館）

○ファン・カルロス・サルカト（メキシコ）

●ホルヘ・リナレス（帝拳）

28WB A女子世界フェザー級（11月21日 韓国 水原市）※

○崔賢美（韓国）

●天空ツバサ（山木）

29WB C世界フライ級（11月29日 さいたまスーパーアリーナ）

○亀田興毅（亀田）

●内藤大助（宮田）

30WB C女子世界アトム級（11月29日 さいたまスーパーアリーナ）

○小関桃（青木）

●ティラホーン・ハンニット（タイ）

31WB A女子世界ミニマム級・WBC女子世界ライト・フライ級王座統一戦（12月6日
ATCホール）

△多田悦子（フューチャー）

△富樫直美（ワタナベ）

32WB C世界バンタム級（12月18日 神戸ワールド記念ホール）

○長谷川穂積（真正）

●アルバロ・ペレス（ニカラグア）

33WB A世界スーパー・ウェルター級暫定（12月29日 大阪府立体育会館第1競技場）

○石田順裕（金沢）

●オネイ・バルデス（コロンビア）

(2) 東洋太平洋タイトルマッチ（28）

1 スーパー・バンタム級（1月11日 石川県産業展示館）

○ロリー松下（カシミ）

●ウェート・サックムアングレーン（タイ）

2 フェザー級（1月24日 後樂園ホール）

○細野悟（大橋）

●澤永真佐樹（赤城）

3 ミニマム級（3月27日 後樂園ホール）

△黒木健孝（ヤマグチ土浦）

△金田淳一郎（白井具志堅スポーツ）

4 ライト級王座決定戦（3月29日 後樂園ホール）

- 長嶋建吾（18古河） ●ランディ・スイコ（比国）
- 5 スーパー・ミドル級（4月13日 後楽園ホール）
○清田祐三（フラッシュ赤羽） ●李・在明（韓国）
- 6 フライ級（5月2日 後楽園ホール）
○大久保雅史（青木） ●ユーチ・キャリーボーイ（タイ）
- 7 スーパー・フライ級（5月2日 後楽園ホール）
○河野公平（ワタナベ） ●ダニエル・フェレーラス（比国）
- 8 スーパー・フェザー級（5月2日 後楽園ホール）
○内山高志（ワタナベ） ●トーン・ポー・チョークチャイ（タイ）
- 9 フェザー級（5月16日 後楽園ホール）
○細野悟（大橋） ●フェルナンド・オティック（比国）
- 10 ライト級（6月13日 古河市立体育館）
○長嶋建吾（18古河） ●趙喜在（韓国）
- 11 スーパー・ウェルター級（6月20日 後楽園ホール）
○飛天かずひこ（新日本木村） ●野中悠樹（尼崎）
- 12 スーパー・バンタム級（6月21日 愛知県産業貿易館）
○大橋弘政（HEIWA） ●ロリー松下（カシミ）
- 13 女子ライト・フライ級王座決定戦（6月26日 後楽園ホール）
○菊地奈々子（白井具志堅スポーツ） ●江畑佳代子（ワタナベ）
- 14 ウェルター級（7月4日 後楽園ホール）
○佐々木基樹（帝拳） ●デクスター・デラーダ（比国）
- 15 バンタム級（7月5日 北谷ドーム）
○サーシャ・バクティン（沖縄ワールドリング） ●リカルド・サモシル（インドネシア）
- 16 ライト・フライ級暫定王座決定戦（7月16日 後楽園ホール）
○家住勝彦（レイスポーツ） ●山中力（帝拳）
- 17 ミドル級（8月2日 松下IMPホール）
○鈴木哲也（進光） ●呉必勝（韓国）

18 女子スーパー・フライ級王座決定戦（9月21日 後楽園ホール）

○藤本りえ（協栄） ●ミッシェル・プレストン（ニュージーランド）

19 ミニマム級（9月26日 つくばカピオ）

○黒木健孝（ヤマグチ土浦） ●ヘリ・アモル（インドネシア）

20 スーパー・フライ級（10月3日 後楽園ホール）

○河野公平（ワタナベ） ●マルビン・タンポス（比国）

21 スーパー・フェザー級（10月3日 後楽園ホール）

○内山高志（ワタナベ） ●アーロン・メルガレホ（比国）

22 フェザー級（10月10日 国立代々木競技場第二体育館）

○細野悟（大橋） ●榎洋之（角海老宝石）

23 女子フライ級王座決定戦（10月12日 後楽園ホール）

○四ヶ所麻美（フラッシュ赤羽） ●OA・ゴーキャットジム（タイ）

24 スーパー・ミドル級（10月12日 後楽園ホール）

○清田祐三（フラッシュ赤羽） ●ヤント・シマモラ（インドネシア）

25 スーパー・ウェルター級（11月1日 松下IMPホール）

○柴田明雄（ワタナベ） ●野中悠樹（尼崎）

26 女子ライト・フライ級（12月2日 後楽園ホール）

○菊地奈々子（白井具志堅スポーツ） ●ヤニ・ゴーキャットジム（タイ）

27 ライト・フライ級（12月8日 後楽園ホール）

○家住勝彦（レイスポーツ） ●和田峯幸生（筑豊）

28 ミドル級（12月13日 松下IMPホール）

○佐藤幸治（帝拳） ●鈴木哲也（進光）

(3) 日本タイトルマッチ (33)

1 スーパー・フェザー級王 (1月17日 後楽園ホール)

△矢代義光 (帝拳)

△三浦隆司 (横浜光)

2 ウェルター級 (2月9日 後楽園ホール)

○中川大資 (帝拳)

●沼田康司 (トクホン真闘)

3 フェザー級 (2月21日 後楽園ホール)

△松田直樹 (帝健)

△梅津宏治 (ワタナベ)

4 スーパー・バンタム級 (2月25日 後楽園ホール)

○木村章司 (花形)

●三浦数馬 (ドリーム)

5 バンタム級 (3月1日 名古屋国際会議場)

○大場浩平 (大スペースK)

●臼井欽士郎 (横浜光)

6 スーパー・フライ級 (3月19日 広島県立総合体育館)

○中広大悟 (広島三栄)

●三枝健二 (新開)

7 ミニマム級王座決定戦 (3月21日 後楽園ホール)

○金光佑治 (六島)

●辻昌建 (帝拳)

8 スーパー・ウェルター級 (3月22日 淀川区民センター)

○野中悠樹 (尼崎)

●新井恵一 (高崎)

9 ライト級 (4月4日 後楽園ホール)

○三垣龍次 (M. T)

●石井一太郎 (横浜光)

10 スーパー・ライト級 (4月4日 後楽園ホール)

○小野寺洋介山 (オサム)

●木村登勇 (横浜光)

11 ミドル級 (4月11日 大阪府立体育会館第1競技場)

○鈴木哲也 (進光)

●淵上誠 (八王子中屋)

12 ライト・フライ級 (4月13日 後楽園ホール)

△嘉陽宗嗣 (白井具志堅スポーツ)

△國重隆 (大阪帝拳)

13 フライ級 (4月19日 後楽園ホール)

△清水智信 (金子)

△池原繁尊 (横浜光)

- 14 ウェルター級（6月6日 後楽園ホール）
○中川大資（帝拳） ●斉藤幸伸丸（輪島功一スポーツ）
- 15 フェザー級（6月6日 後楽園ホール）
○松田直樹（帝拳） ●上野則之（ワタナベ）
- 16 スーパー・バンタム級（6月8日 後楽園ホール）
○木村章司（花形） ●金沢知基（角海老）
- 17 ミニマム級王座決定戦（6月21日 松下IMPホール）
○八重樫東（大橋） ●堀川謙一（SFマキ）
- 18 スーパー・フェザー級（7月4日 後楽園ホール）
○三浦隆司（横浜光） ●矢代義光（帝拳）
- 19 バンタム級（7月5日 名古屋国際会議場）
○大場浩平（大スペースK） ●馬野晃（ハラダ）
- 20 ライト級（8月1日 後楽園ホール）
○近藤明広（日東） ●三垣龍次（M. T）
- 21 スーパー・ライト級（8月10日 後楽園ホール）
○小野寺洋介山（オサム） ●和宇慶勇二（ワタナベ）
- 22 スーパー・フライ級（8月29日 三次市カルチャーセンター）
○中広大悟（広島三栄） ●本田秀伸（グリーンツダ）
- 23 ミニマム級（9月5日 後楽園ホール）
○八重樫東（大橋） ●金田淳一郎（白井具志堅スポーツ）
- 24 スーパー・フェザー級（10月10日 国立代々木競技場第二体育館）
○三浦隆司（横浜光） ●古口雅之（草加有沢）
- 25 ライト・フライ級（10月12日 後楽園ホール）
○宮崎亮（井岡） ●嘉陽宗嗣（白井具志堅スポーツ）
- 26 スーパー・ウェルター級（11月1日 松下IMPホール）
○柴田明雄（ワタナベ） ●野中悠樹（尼崎）

27 フェザー級（11月7日 後楽園ホール）

○松田直樹（帝拳）

●梅津宏治（ワタナベ）

28 バンタム級（11月22日 名古屋国際会議場）

○大場浩平（大ースペースK）

●池原信遂（大阪帝拳）

29 ウェルター級（12月5日 後楽園ホール）

○中川大資（帝拳）

●山川和風（金子）

30 スーパー・ライト級（12月14日 後楽園ホール）

○小野寺洋介山（オサム）

●西尾彰人（姫路木下）

31 スーパー・バンタム級（12月14日 後楽園ホール）

○芹江匡晋（伴流）

●木村章司（花形）

32 スーパー・フライ級（12月18日 広島県立総合体育館）

△中広大悟（広島三栄）

△赤穂亮（横浜光）

33 ライト級（12月19日 後楽園ホール）

○近藤明広（日東）

●加藤善孝（角海老宝石）

〔別表2〕海外での世界タイトルマッチに役員派遣

(内訳：WBC 6名、WBA 1名、OPBF 0名)

- 1 WBC女子スーパー・フライ級暫定王座決定戦ウサナコン・ゴーキャットジム対藤本りえ戦(3月4日 タイ・コンケン)に宮崎久利レフェリー。
- 2 WBCヘビー級ビタリ・クリチコ対ファン・カルロス・ゴメス戦(3月21日 ドイツ・シュツットガルト)に浦谷信彰ジャッジ。
- 3 WBCフライ級暫定王座決定戦ポンサクレック・ウォンジョンカム対フリオ・セサール・ミランダ戦(4月24日 タイ・バンコク)に福地勇治レフェリー。
- 4 WBAスーパー・ミドル級カール・フロッチ対ジャーメイン・テラー戦(4月25日 アメリカ・コネチカット州マッシュャンタケット)に浦谷信彰ジャッジ。
- 5 WBCミニマム級オーレドン・シッサマーチャイ対モハメド・ラクマン戦(5月29日 タイ・プーケット)に安河内剛スーパーバイザー。
- 6 WBCフライ級暫定ポンサクレック・ウォンジョンカム対升田貴久戦(8月28日 タイ・チェンマイ)に金谷武明ジャッジ。
- 7 WBCヘビー級ビタリ・クリチコ対クリス・アレオーラ戦(9月26日 アメリカ・ロサンゼルス ステープルスセンター)に森田健ジャッジ。
- 8 WBC女子バンタム級ガリーナ・コレヴァ・イヴァノヴァア対ウサナコン・ゴーキャットジム戦(10月3日 タイ・ナコンラチャーシマ)に福地勇治レフェリー。
- 9 WBCミニマム級王座統一戦オーレドン・シッサマーチャイ対ファン・パラシオス戦(11月27日 タイ・ラングジット)に福地勇治レフェリー。